

地水火風

牧野 恒一

熊本・大分で、震度7を二度も記録するなど大規模な群発地震が続いている。相次ぐ余震に復旧・復興も遅れがちで、被災者の心身のダメージも限界に近づいているのではないかと心配だ。記憶にない連続地震に、地震には経験を積んでいるはずの日本人も戸惑わずにはいられない。この熊本地震について考えてみた。

熊本・大分で、震度7に死者2名、心肺停止1名、重軽傷7名の人的被害があり、住家の被害も大きく、2万3千人が避難所に避難した。

熊本城内の12市町村のほか、大分県でも別府市、由布市の2市で記録し、より大きな被害が広域に広がった。

この「本震」は、地震の強さといい、震源の深さも余震が100回を超えた。震度別では、最大震度7が2回、震度6強が2回、震度6弱が3回、

死者2名、心肺停止1名、重軽傷7名の人的被害があり、住家の被害も大きく、2万3千人が避難所に避難した。

石垣が崩れた映像に胸が痛んだが、この時点ではまだ「余震が続いて大変だが、近隣からの素早い応援もあるので、早晚復旧できるだろう。それまで、もう少しの辛抱だ。頑張つて」くらいにしか考えていなかった。

だが、16日(土)の深夜1時過ぎに起きた「本震」で様相が一変した。この地震は、14日の地震(前震)と位置づけられたと同様熊本地方を震源とし、M7.3、震源の深さは12kmで、益城町と西原村で震度7を記録。熊本市など8市町村で震度6強、震度6弱は

この「本震」は、地震の強さといい、震源の深さも余震が100回を超えた。震度別では、最大震度7が2回、震度6強が2回、震度6弱が3回、

震度5強が4回、震度5弱が7回、震度4が83回などとなっている。気象庁は、今後も当分の間、最大震度6弱程度を警戒するよう呼びかけている。

熊本市など8市町村で震度6強、震度6弱は、死者66名、重傷者3

平成28年熊本地震

「地震の概要」

4月14日(木)の夜9時過ぎ、熊本県熊本地方を震源とするM6.5の直下型地震が発生した。震源の深さは11kmで、益城町で震度7を記録。熊本市など4市町村で震度6弱、熊本県中央部で広く震度5を記録した。この地震で、益城町を中心

気象庁は、この本震と前震を含めた一連の地震を「平成28年熊本地震」と名付けた。

「連続地震が怖い」

「連続地震に対応した支援が必要」

熊本市など8市町村で震度6強、震度6弱は、死者66名、重傷者3

熊本・大分で、震度7を二度も記録するなど大規模な群発地震が続いている。相次ぐ余震に復旧・復興も遅れがちで、被災者の心身のダメージも限界に近づいているのではないかと心配だ。記憶にない連続地震に、地震には経験を積んでいるはずの日本人も戸惑わずにはいられない。この熊本地震について考えてみた。

熊本・大分で、震度7に死者2名、心肺停止1名、重軽傷7名の人的被害があり、住家の被害も大きく、2万3千人が避難所に避難した。

この「本震」は、地震の強さといい、震源の深さも余震が100回を超えた。震度別では、最大震度7が2回、震度6強が2回、震度6弱が3回、

熊本・大分で、震度7に死者2名、心肺停止1名、重軽傷7名の人的被害があり、住家の被害も大きく、2万3千人が避難所に避難した。

熊本・大分で、震度7に死者2名、心肺停止1名、重軽傷7名の人的被害があり、住家の被害も大きく、2万3千人が避難所に避難した。